

平成25年度事務事業評価及び特定分野評価（補助金）
に係る改善計画書

事業名	ダム周辺地域振興事業費				
所管課名	商工観光課		課長名	伊従 健二	
事業の目的と実施内容					
目的	水源地域の活性化策として、県立あいかわ公園において、地域の自然・産業・歴史文化などの発信、都市と地域の交流及び自然環境保全への理解を深めることを目的に、「あいかわ公園つつじまつり」を実施するもの。				
内容・方法	和紙細工や繊維関係の体験教室や、水源地域の特産品「やまなみグッズ」の紹介・販売、和太鼓やキッズダンスなどのステージショー、宮ヶ瀬ダム観光放流などを行うもの。				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	現状維持	1次	現状維持	2次	改善して実施する
今後の方向性に係る意見等（最終）			町の最終方針		
愛川町の観光の推進における役割として重要性は評価できる。ただし、実施主体及び内容を見直すことで負担金を削減すると共に事業による成果について分析をする必要がある。			平成26年度に開催を予定する、あいかわ公園つつじまつりから、来場者アンケートなどによるニーズ調査及び運営費などの支出の見直しによる町負担金の削減に努める。		
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期（期限）	具体的な改善等の内容			
予算要求	H25.12	予算要求にあたり、運営費の縮小に努める。ただし、来場者は増加傾向にあり、町マイクロバス以外に民間の路線バスの借り上げが必要となることや、消費税増額も見込まれる。			
つつじまつり実行委員会での方針説明	H26.3	3月末に開催予定の「つつじまつり実行委員会（会長＝町長）」において、町の最終方針を説明し、運営費の見直しを行う要望を伝える。			
あいかわ公園駐車場の利用者負担の開始	H26.3	町関連のイベントにおける駐車場料金は、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の御協力により無料であったが、平成26年度以降は、指定管理者としての経営面から有料化の方針が示されていることから、参加団体などとの協議を行っていく。 なお、有料となった場合には、当財団負担金（現状500千円）の増額が見込まれている。			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H25)	H26	H27	
来場者数（主催者発表）	人	25,000	25,000	25,000	
目標とする成果の設定理由	年間40万人もの来場者がある観光拠点「あいかわ公園」において、愛川町の情報発信を行うことで、来場者の再来町及び来場者からの情報発信の展開を図るもの。				
4 経費等の見込み					
		H25	H26	H27	
事業費（予算） 単位：千円		1,800	1,800	1,800	
概算職員数 単位：人		0.08	0.08	0.08	

5 改善等工程表

項目名 (2 町の最終方針を実施するための具体的な方法と一致)		平成25年度				平成26年度												平成27年度											
	工程名	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
H26 予算要求																													
	参加団体運営費などの見直し及び消費税増額に伴う委託費等の見直し	→																											
	参加団体運営費などの見直し					→																							
実行委員会で方針説明																													
	事務事業評価における「町の最終方針」の説明及び今後の取り組みを説明	→				→																							
あいかわ公園駐車場の利用者負担開始																													
	駐車場有料化に伴う運営費等の変更点について説明	→																											